

107. 検 察 と 裁 判

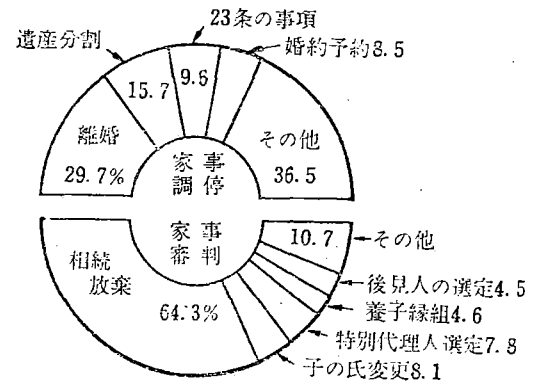
刑法およびその他法令違反によるものは年々増加し、県下検察庁で新たに受理されたものは7万9千人に達し年々増加の傾向にある。

このことは近年、社会の複雑化によるところに大きな要因があるものと考えられる。

またそれに従い裁判にゆだねられる件数も次第に増加し、なかでも民事による訴訟はいちじるしく増えた。

つぎに刑事事件による被告人員も次第に多くなり今日の世相が裁判の上にもあらわれている。

家事事件の割合 (昭和36年)



年	検 察 事 件 受 理 人 員						
	総 数	旧 受	新 受				その他
			計	他の検察 庁より	家裁より	通常警 察より	
昭和26年	49 803	3 049	46 754	11 587	176	34 181	810
27	45 684	2 375	43 309	10 446	121	31 781	961
28	49 334	1 256	48 078	12 823	103	34 248	904
29	56 220	628	55 592	16 099	170	37 699	1 624
30	60 766	1 497	59 269	15 554	234	41 624	1 857
31	53 951	1 694	52 257	11 546	265	38 681	1 765
32	63 474	553	62 921	17 354	478	42 845	2 244
33	72 682	525	72 157	18 692	764	51 018	1 683
34	79 067	802	78 265	19 606	1 305	55 783	1 571
35	81 833	558	81 275	22 435	1 637	55 879	1 324
36	80 755	1 153	79 602	21 593	1 462	55 299	1 248
	裁 判 受 理 件 数						
	民 事 事 件		家 事 審 判		刑 事 事 件 被告人員数	少 年 保 護 人員数	
	訴訟事件	調停事件	家 調停事件	家 審判事件			
昭和26年	1 741	...	1 062	12 020	...	6 013	
27	1 069	10 337	...	5 585	
28	7 304	...	1 082	10 464	1) 3 417	5 284	
29	9 690	1 476	1 071	11 248	1) 3 359	5 636	
30	9 521	1 656	1 161	10 317	1) 3 762	5 281	
31	9 773	1 656	1 150	10 881	1) 3 679	5 485	
32	10 515	1 607	1 323	11 238	33 631	6 943	
33	10 854	1 594	1 346	10 551	38 226	9 027	
34	11 853	1 641	1 231	11 047	49 404	13 059	
35	11 884	1 539	1 239	11 630	49 604	16 145	
36	13 054	1 490	1 205	10 360	50 947	15 162	

千葉地方検察庁，千葉地方裁判所調 (注) 1) は略式手続によるものを含まない。